

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり		
	施策	3	地域医療		
				福祉子ども部	森嶋 和宏

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- 地域医療体制の充実に向けては、限られた医療資源を効率的かつ効果的に機能させる必要があります。
- 救急医療体制の整備については、伊賀地域3病院の機能分担と連携により、伊賀地域における救急受入体制の役割分担を図り、輪番体制を維持しながら、救急医療の安定化を図ることや医師確保及び最新の医療機器の整備等による「魅力ある病院づくり」が必要です。
- 安心な医療体制を構築するためには、県内及び奈良県など近隣地域との広域的な連携が必要となることから、近隣地域と相互に連携を深める体制の充実が求められます。
- 住み慣れた地域で最期まで安心して暮らしていくためには、身近なかかりつけ医師、歯科医師、薬剤師等を持ち、医療に関する相談等ができる地域医療体制づくりが求められます。

2. 施策の基本方針

Plan

- 市立病院を核とする地域医療機関との機能分担と連携を強化して、安心で信頼できる地域医療体制を構築します。
- 伊賀地域における安心で安定した救急医療体制を確立するため、関係機関と連携しながら地域内の病院機能の分担と連携の強化をさらに進めます。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan Do

施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
地域医療機関(開業医や公立病院等)での現在の医療体制に満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	50.5	
	成果	47.0	52.8	48.8	53.8	100.0%
かかりつけ医を決めている人の割合(%)	目標	-	-	-	85.0	
	成果	77.5	80.3	77.7	78.9	18.7%
地域医療機関等から市立病院への紹介件数(件/月)	目標	-	-	-	554	
	成果	513	536	527	491	0.0%
市立病院から地域医療機関等への紹介件数(件/月)	目標	-	-	-	529	
	成果	490	489	526	524	87.2%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度~30年度)

Plan Do

- ・医療機関と連携しながら、伊賀地域の医療体制の整備を図るため、地域医療構想の策定に積極的な関与を行うとともに、伊賀地域の医療体制について協議を行いました。
- ・伊賀地域における安心な救急医療体制を確立するため、既存の医療資源を有効活用し、伊賀地域の基幹3病院の連携により、救急輪番体制を維持しながら、二次救急医療体制の確保に努めました。
- ・関西医科大学小児科学教室の協力により、小児科医師5名が常勤しています。また、平成26年1月開設の「小児救急医療センター」により24時間365日の小児救急を継続しています。
- ・県、大学、医師会等の関係機関に、伊賀地域の産婦人科医の必要性について説明を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

- ・限られた医療資源を効率的かつ効果的に機能させることが必要です。
- ・小児救急医療については、引き続き「24時間365日」の受入れを継続するため、現在の医療体制を維持していく必要があります。
- ・産婦人科の開設について引き続き関係機関との調整が必要です。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

- ・関係機関と連携しながら、伊賀地域の医療体制の整備に努めます。
- ・小児救急医療については、小児科常勤医師の派遣元である関西医科大学をはじめ、救急応援医師の派遣元大学との協力関係の維持に努めます。
- ・産婦人科開設については、引き続き、大学病院や地域の産婦人科と協議を行います。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

地域医療機関との連携をさらに強化し、伊賀地域における医療体制の充実に向け取り組むとともに、市立病院において、引き続き、医師確保に取り組むこと。